

4 費目別指数の動き

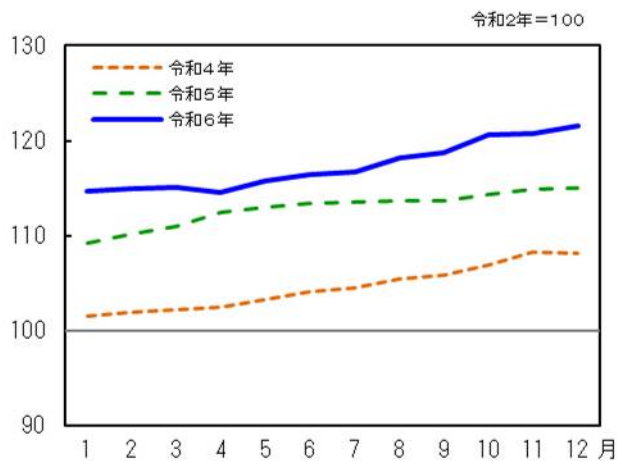
(1) 食料指数

食料の年平均指数は 117.8 となり、前年に比べ 4.7% の上昇となった。

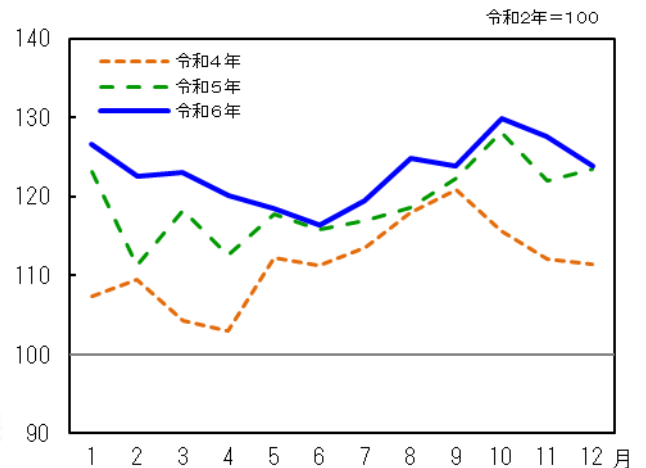
食料のうち生鮮食品についてみると、生鮮魚介が 3.2% の上昇、生鮮野菜が 11.2% の上昇、生鮮果物が 11.0% の上昇となり、生鮮食品全体では 8.7% の上昇となった。

生鮮食品を除く食料の年平均指数は 117.3 となり、前年に比べ 4.0% の上昇となった。その内訳をみると、穀類は 10.7% の上昇、魚介類は 2.9% の上昇、肉類は 7.2% の上昇、乳卵類は 2.5% の上昇、野菜・海藻は 8.7% の上昇、果物は 9.9% の上昇、油脂・調味料は 1.1% の上昇、菓子類は 2.3% の上昇、調理食品は 2.3% の上昇、飲料は 7.4% の上昇、酒類は 2.4% の上昇、外食は 1.9% の上昇となった。

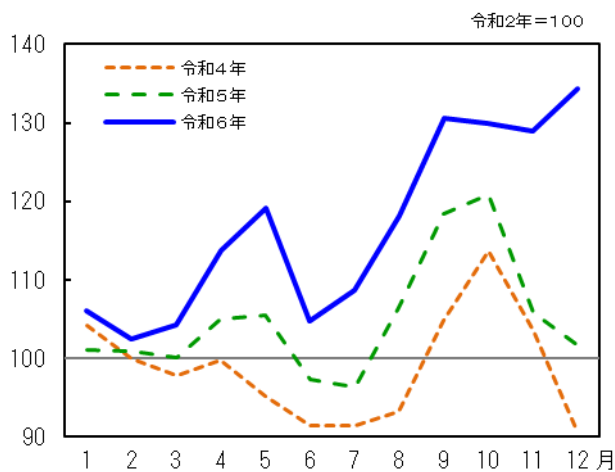
生鮮食品を除く食料指数



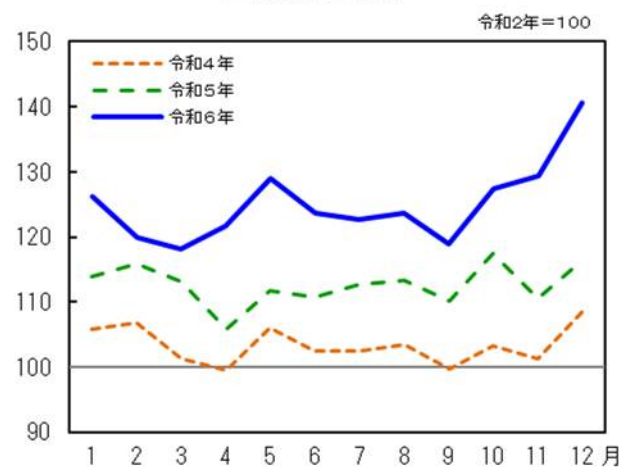
生鮮魚介指数



生鮮野菜指数

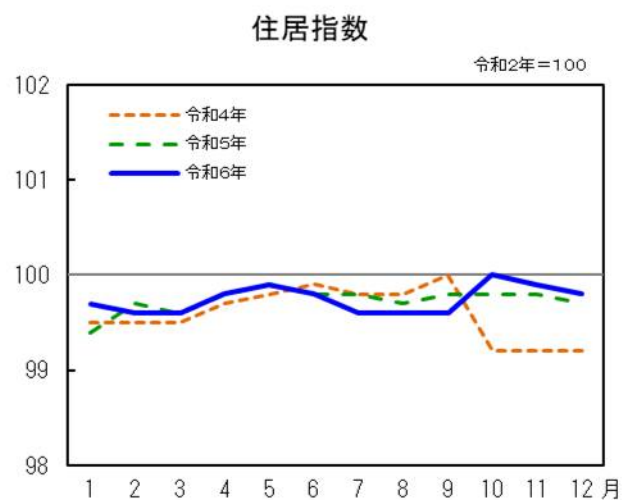


生鮮果物指数



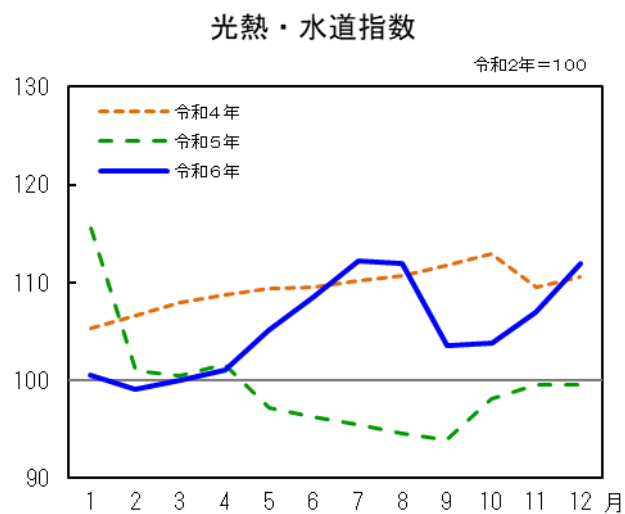
(2) 住居指数

年平均指数は 99.7 となり、前年と同じ水準となった。内訳をみると、家賃は 0.4% の下落、設備修繕・維持は 2.6% の上昇となった。



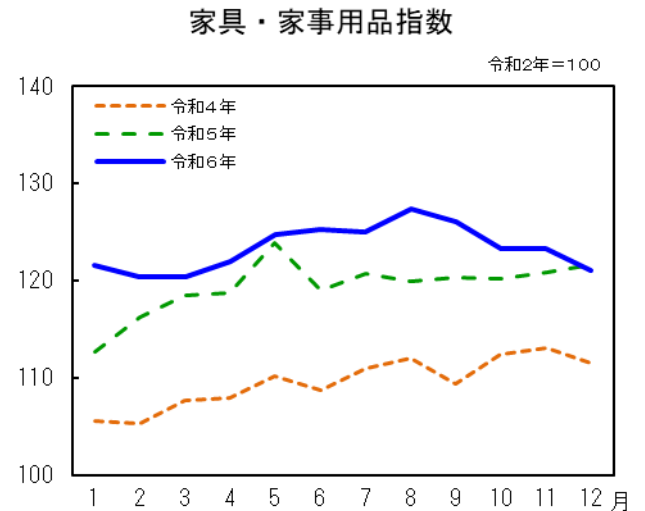
(3) 光熱・水道指数

年平均指数は 105.4 となり、前年に比べ 6.0% の下落となった。内訳をみると、電気代は 11.4% の上昇、ガス代は 1.1% の上昇、他の光熱は 1.0% の上昇、上下水道料は前年と同じ水準となった。



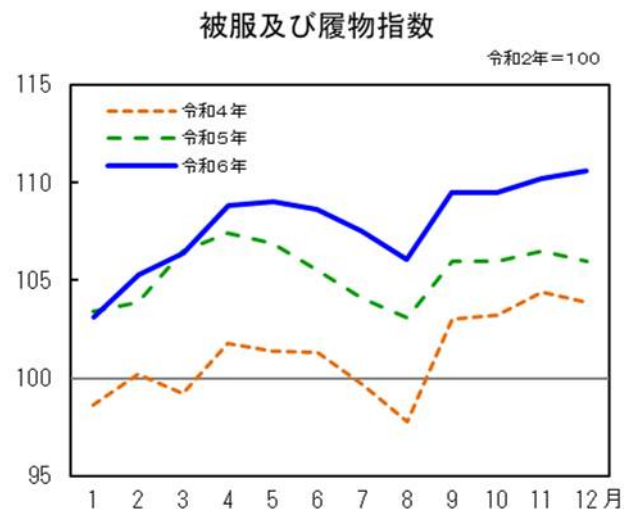
(4) 家具・家事用品指数

年平均指数は 123.3 となり、前年に比べ 3.3% の上昇となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 4.6% の上昇、室内装備品は 3.0% の上昇、寝具類は 0.2% の上昇、家事雑貨 0.7% の下落、家事用消耗品は 3.9% の上昇、家事サービスは 8.3% の上昇となった。



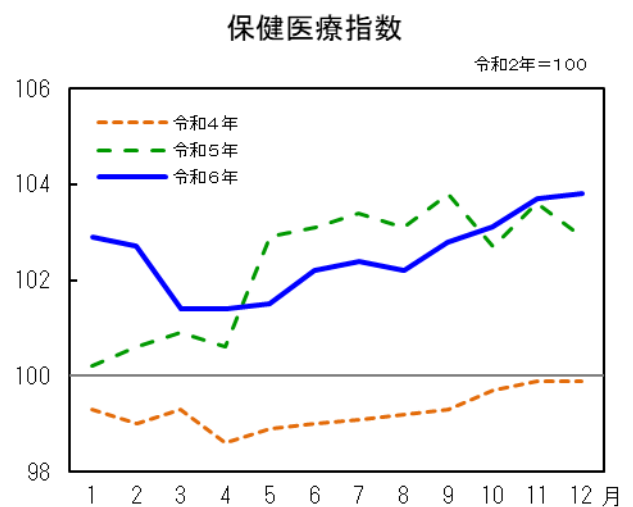
(5) 被服及び履物指数

年平均指数は 107.9 となり、前年に比べ 2.3% の上昇となった。内訳をみると、衣料は 3.1% の上昇、シャツ・セーター・下着類は 1.9% の上昇、履物類は 1.7% の上昇、他の被服は 1.2% の下落、被服関連サービスは 6.5% の上昇となった。



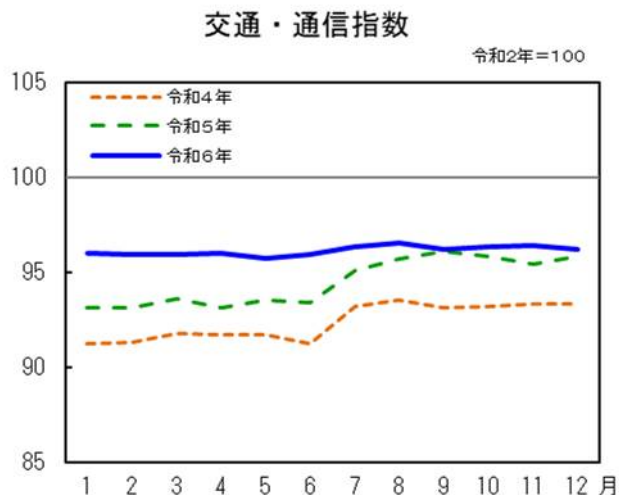
(6) 保健医療指数

年平均指数は 102.5 となり、前年に比べ 0.2% の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は 0.9% の上昇、保健医療用品・器具は 0.9% の下落、保健医療サービスは 0.1% の上昇となった。



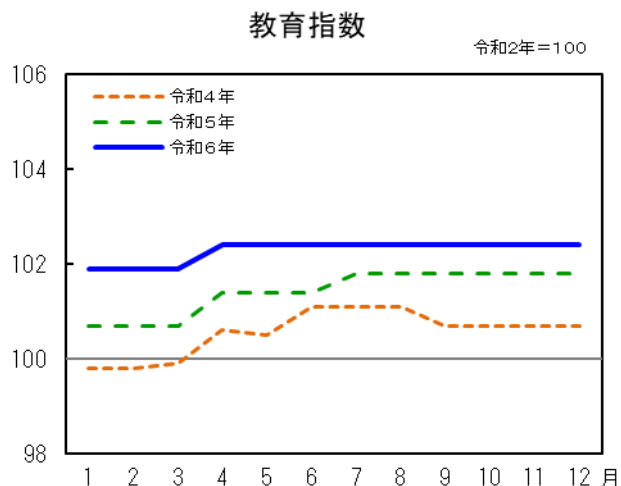
(7) 交通・通信指数

年平均指数は 96.1 となり、前年に比べ 1.7% の上昇となった。内訳をみると、交通は 3.6% の上昇、自動車等関係費は 2.3% の上昇、通信は 0.6% の下落となった。



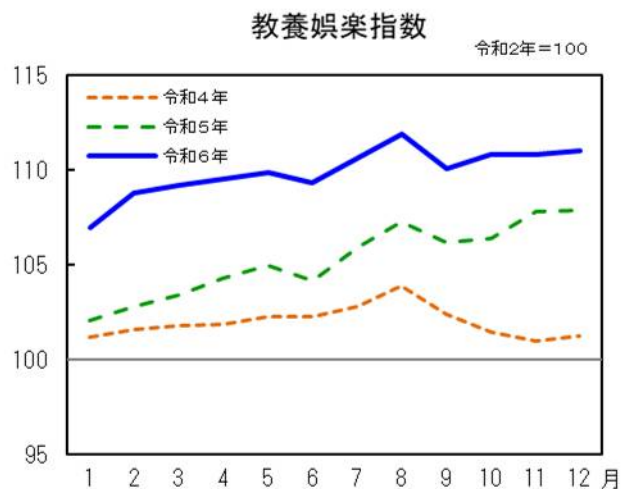
(8) 教育指数

年平均指数は 102.3 となり、前年に比べ 0.8% の上昇となった。内訳をみると、授業料等は 0.3% の上昇、教科書・学習参考教材は 3.2% の上昇、補習教育は 1.7% の上昇となった。



(9) 教養娯楽指数

年平均指数は 109.9 となり、前年に比べ 4.4% の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 3.4% の上昇、教養娯楽用品は 2.5% の上昇、書籍・他の印刷物は 7.6% の上昇、教養娯楽サービスは 4.6% の上昇となった。



(10) 諸雑費指数

年平均指数は 104.8 となり、前年に比べ 1.4% の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは 3.0% の上昇、理美容用品は 0.7% の上昇、身の回り用品は 4.9% の上昇、たばこは 0.2% の上昇、他の諸雑費は 0.3% の下落となった。

